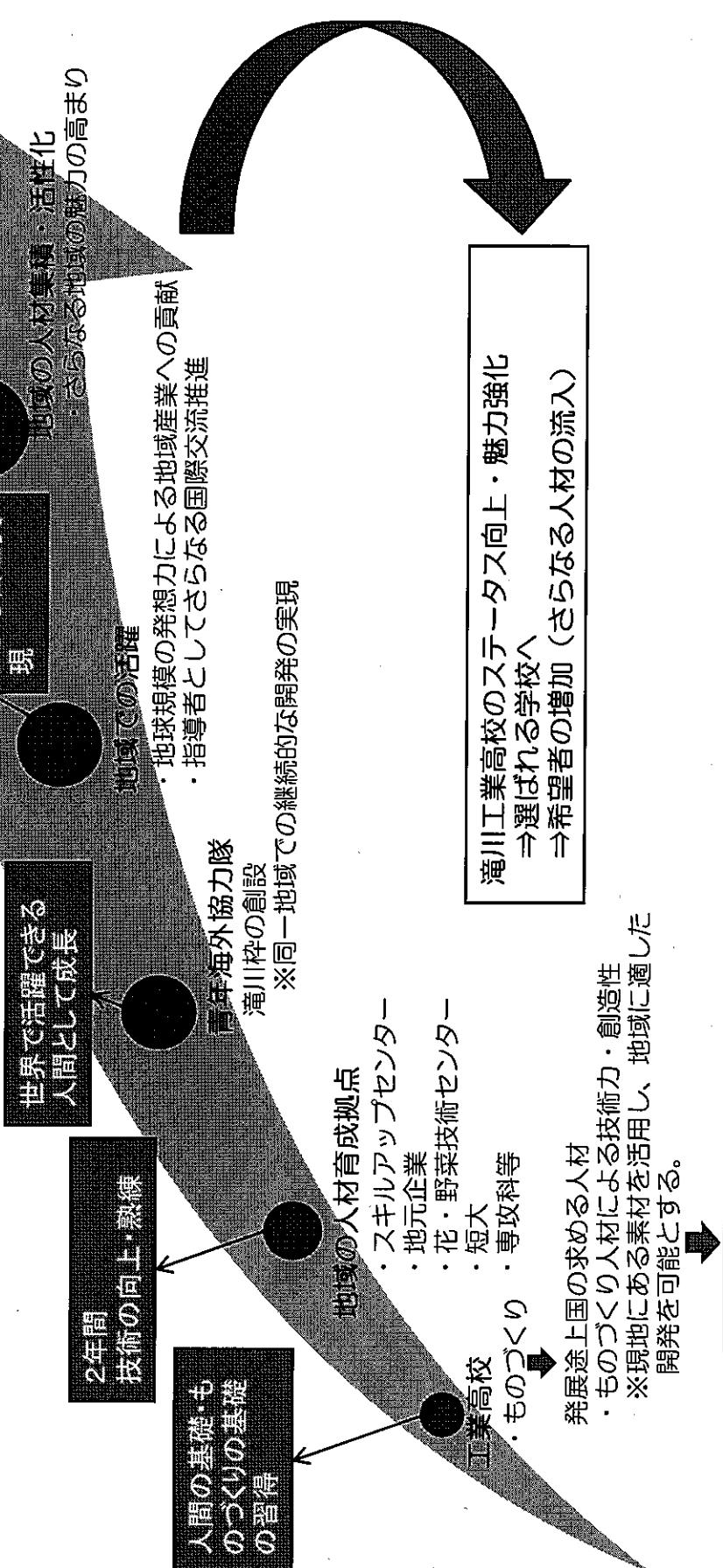


# 滝川工業高等学校活性化プラン

## (1) 「テクノグローバリスト」育成プラン

滝川独自の地域資源を生かした特色ある高校づくり

- ・国際交流実績 国際協力分野におけるJICA関連諸国研修員等の入れ日数・人数 1,097日、401人(H7~H19)
- ・人材育成拠点の集積 スキルアップセンター、地元企業、花・野菜技術センター、園芸専門学校等
- ・地域との協力体制 滝川工業高等学校の活性化を支援する会、滝川市議会議員会議、地元企業、各種職業訓練協会等



## (2) 地域の望む工業高校の姿

### 地域の望む工業高校の姿

#### 総合工業科制

1年 2年 3年



- 入学志望動機の曖昧さ
- 生徒の志望と学科内容のミスマッチ

#### 1年目

⇒進路ガイダンスにより将来の進路・適性を分析

- ・目的意識の確立
  - ・生徒の志望と専科とのミスマッチ解消
- ⇒専科毎に深化した専門知識・技術等の習得
- ・自己選択による学習意欲の向上
  - ・適性に応じた個性の伸長

#### 2~3年目

- 地域が求める高度な技術を身に付けた実践力のある技術者の育成
  - ・工業高校で学んだ専門的な技術・技能を深め、高い実務能力を備えた技術者
  - ・課題解決能力と創造的な発想力を持ち、総合的にものづくりを担える技術者
  - ・企業と大学等とのパイプ役として、企業の技術力向上を担える技術者
- ⇒
- 高い技術力を持った地域企業・先端技術を研究する大学等から外部講師を招聘
  - ・長期インターンシップの実施
- ⇒
- 実践的な英語力の向上
  - ・工業技術英語
  - ・英会話
- ⇒
- ・JICA（国際協力機構）・AET・西高との連携

#### 指す人材像

- ・将来目標（夢）をもつた人材
- ・学ぶ意欲（技術力）をもつた人材
- ・豊かな心（豊かなる心）
- ・自己実現できる人材  
(自分の目標を持ち、努力を継続できる力)